

(参考)

2022年3月期 第3四半期連結決算概要2022年2月3日
三井化学株式会社

(単位：億円)

1. 損益状況

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減	2021年 3月期実績	2022年3月期業績予想 (11/5発表値)	
					通期	増減
売上収益	8,574	11,651	3,077	12,117	16,300	4,183
コア営業利益	522	1,343	821	851	1,600	749
営業利益	519	1,360	841	781	1,450	669
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	330	1,001	671	579	1,030	451
為替レート(円/US\$)	106	111	5	106	112	6
国産ナフサ価格(円/KL)	28,800	54,000	25,200	31,300	56,200	24,900

2. セグメント別売上収益・コア営業利益

・売上収益

(単位：億円)

	2021年 3月期 第3四半期	2022年 3月期 第3四半期	増減			2021年 3月期実績	2022年3月期業績予想 (11/5発表値)	
			計	数量差	価格差		通期	増減
モビリティ	2,208	2,969	761	253	508	3,155	4,350	1,195
ヘルスケア	1,057	1,241	184	178	6	1,439	1,650	211
フード&パッケージング	1,393	1,658	265	251	14	1,977	2,300	323
基盤素材	3,818	5,673	1,855	194	1,661	5,414	7,860	2,446
その他	98	110	12	—	12	132	140	8
合計	8,574	11,651	3,077	876	2,201	12,117	16,300	4,183

・コア営業利益

(単位：億円)

	2021年 3月期 第3四半期	2022年 3月期 第3四半期	増減				2021年 3月期実績	2022年3月期業績予想 (11/5発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		通期	増減
モビリティ	195	359	164	61	89	14	302	500	198
ヘルスケア	148	166	18	88	△21	△49	199	215	16
フード&パッケージング	152	199	47	79	△18	△14	220	270	50
基盤素材	53	657	604	49	434	121	196	725	529
その他	△5	△3	2	—	—	2	△11	△20	△9
全社費用等	△21	△35	△14	—	—	△14	△55	△90	△35
合計	522	1,343	821	277	484	60	851	1,600	749

3. 財政状態計算書

(単位：億円)

	資産の部				負債及び資本の部		
	2021/3末	2021/12末	増減		2021/3末	2021/12末	増減
流動資産	7,876	10,216	2,340	有利子負債	5,638	6,736	1,098
有形固定資産 及び使用権資産	5,020	5,399	379	その他負債	3,122	3,995	873
のれん及び 無形資産	208	265	57	親会社の所有者に 帰属する持分	6,079	6,911	832
非流動の その他の資産	2,477	2,688	211	非支配持分	742	926	184
資産計	15,581	18,568	2,987	負債資本計	15,581	18,568	2,987

(NET D/Eレシオ) (0.60) (0.67) (0.07)

4. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減	2021年 3月期実績	2022年3月期業績予想 (2/3発表値)	
					通期	増減
営業キャッシュ・フロー	1,405	543	△862	1,743	890	△853
投資キャッシュ・フロー	△650	△1,040	△390	△775	△1,720	△945
(フリーキャッシュ・フロー)	(755)	(△497)	(△1,252)	(968)	(△830)	(△1,798)
財務キャッシュ・フロー	△341	631	972	△690	450	1,140
その他	△16	24	40	36	30	△6
現金及び現金同等物増減	398	158	△240	314	△350	△664
現金及び現金同等物残高	2,044	2,118	74	1,960		



2022年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年2月3日

上場会社名 三井化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4183 URL <https://jp.mitsuichemicals.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 修
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 井上 純一 TEL 03-6253-2100
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,165,079	35.9	134,260	157.3	136,026	162.0	107,517	190.2	100,067	203.2	122,556	151.6
2021年3月期第3四半期	857,428	△14.7	52,180	△13.0	51,927	△6.0	37,044	△0.8	33,001	6.5	48,710	70.9

(参考) 税引前四半期利益 2022年3月期第3四半期 129,579百万円 2021年3月期第3四半期 46,685百万円
 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	513.32	—
2021年3月期第3四半期	170.44	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,856,752	783,729	691,085	37.2
2021年3月期	1,558,125	682,157	607,921	39.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2022年3月期	—	55.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	65.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2022年3月期の期末配当予想の内訳は普通配当が60円、記念配当が5円です。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,630,000	34.5	160,000	87.9	145,000	85.7	114,000	77.5	103,000	78.0	529.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	204,653,315株	2021年3月期	204,608,615株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	11,415,434株	2021年3月期	8,664,390株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	194,943,251株	2021年3月期3Q	193,620,695株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 配当予想の修正	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般的状況)

当第3四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年12月31日の9ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行は続いているものの、ワクチンの普及などにより、景気持ち直しの動きが継続しました。日本経済においても、新型コロナウイルス感染症の影響は続いているものの、製造業を中心に景気持ち直しの動きが継続しました。一方で、原油価格の高騰や自動車減産の動きに加え、足下では新型コロナウイルス変異株(オミクロン株)による感染拡大など、注視すべき状況も生じております。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

なお、当社は経営指標の一つとしてコア営業利益を採用しております。コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

(単位:億円)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益
当四半期	11,651	1,343	1,360	1,001
前年同四半期	8,574	522	519	330
増減額	3,077	821	841	671
増減率(%)	35.9	157.3	162.0	203.2

売上収益は、前年同四半期に比べ3,077億円増(35.9%増)の1兆1,651億円となりました。これは、ナフサなどの原燃料価格の上昇に伴う販売価格上昇の影響があったことに加え、経済活動の再開に伴う需要回復により各セグメントにおいて販売数量が増加したことなどによるものです。

コア営業利益は、前年同四半期に比べ821億円増(157.3%増)の1,343億円となりました。これは、ビスフェノールAなどの市況が上昇したことによる交易条件の改善に加え、各セグメントにおける販売数量の増加や持分法投資利益の改善があったことなどによるものです。

営業利益は、コア営業利益の増加に伴い、前年同四半期に比べ841億円増(162.0%増)の1,360億円となりました。

金融収益・費用は、為替差損益が改善したものの、貸倒引当金の繰入額の増加などにより、12億円悪化の64億円の損失となりました。

以上により、**税引前四半期利益**は、前年同四半期に比べ829億円増(177.6%増)の1,296億円となりました。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同四半期に比べ671億円増(203.2%増)の1,001億円となり、基本的1株当たり四半期利益は513.32円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(モビリティ)

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ761億円増の2,969億円、売上収益全体に占める割合は25%となりました。また、コア営業利益は、主にグローバルな自動車生産台数の回復等により、前年同四半期に比べ164億円増の359億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

エラストマー、機能性コンパウンド及び海外**ポリプロピレン・コンパウンド**事業は、需要の回復に的確に対応し、販売が堅調に推移しました。

機能性ポリマーは、ICT(情報通信技術)関連需要に的確に対応し、販売が堅調に推移しました。

ソリューション事業は、試作・開発案件の延期等が長期化し、販売は前年同四半期並で推移しました。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ184億円増の1,241億円、売上収益全体に占める割合は11%となりました。また、コア営業利益は、主にビジョンケア材料の販売が堅調に推移したことにより、前年同四半期に比べ18億円増の166億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ビジョンケア材料のメガネレンズ用材料は、需要の回復に的確に対応し、販売が堅調に推移しました。

不織布は、マスク向けの販売は堅調に推移したものの、医療用ガウン向けの販売は減少しました。

歯科材料は、需要の回復に的確に対応し、欧州を中心に販売が堅調に推移しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ265億円増の1,658億円、売上収益全体に占める割合は14%となりました。また、コア営業利益は、主にコーティング・機能材及び機能性フィルム・シートの販売が堅調に推移したことにより、前年同四半期に比べ47億円増の199億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

コーティング・機能材は、需要の回復に的確に対応し、販売が堅調に推移しました。

機能性フィルム・シートは、ICTを中心とした産業用フィルム分野において販売が堅調に推移しました。

農業は、海外の販売が堅調に推移しました。

(基盤素材)

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ1,855億円増の5,673億円、売上収益全体に占める割合は49%となりました。また、コア営業利益は、ビスフェノールA等の海外市況の影響及びナフサ等原料価格上昇に伴う在庫評価益等により、前年同四半期に比べ604億円増の657億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率は、川下製品の需要回復により高水準で推移しました。また、**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**は、国内需要が回復し、販売が堅調に推移しました。

(その他)

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ12億円増の110億円、売上収益全体に占める割合は1%となりました。また、コア営業損失は、前年同四半期に比べ2億円減の3億円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明**(資産、負債、資本の状況)**

当四半期末の**資産合計**は、前期末に比べ2,987億円増の1兆8,568億円となりました。

当四半期末の**負債合計**は、前期末に比べ1,971億円増の1兆731億円となりました。また、**有利子負債**は1,098億円増の6,736億円となりました。この結果、資産合計に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.1ポイント増の36.3%となりました。

当四半期末の**資本合計**は、前期末に比べ1,016億円増の7,837億円となり、**親会社所有者帰属持分比率**は前期末に比べ1.8ポイント減の37.2%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債(有利子負債－現預金・長期性預金)／親会社の所有者に帰属する持分)**は、前期末に比べ0.07ポイント増の0.67となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前期末に比べ158億円増加し、当四半期末には2,118億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ862億円減の543億円となりました。これは主に、税引前四半期利益の改善があったものの、運転資本が増加したことなどによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ390億円増の1,040億円となりました。これは主に、子会社の取得による収入があったものの、設備投資による支出や持分法で会計処理されている投資の取得による支出が増加したことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって得られた資金は、631億円となりました。これは主に、有利子負債の借入額が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(業績の見通し)

業績予想にあたり、為替レートは通期112円/\$ (1～3月 114円/\$)、国産ナフサ価格は通期56,200円/KL (1～3月 63,000円/KL) を前提としております。

通期の業績予想につきましては、前回発表予想値を見直しておりません。

(単位：億円)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
通 期 予 想	16,300	1,600	1,450	1,140	1,030	529.52
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	12,117	851	781	642	579	298.00

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しにつきましては、前回発表予想値を見直しておりません。

(単位：億円)

	売上収益						
	モビリティ	ヘルスケア	フード&パッケージング	基盤素材	その他	全社費用等	合計
通期予想	4,350	1,650	2,300	7,860	140	—	16,300

(単位：億円)

	コア営業利益						
	モビリティ	ヘルスケア	フード&パッケージング	基盤素材	その他	全社費用等	合計
通期予想	500	215	270	725	△20	△90	1,600

(4) 配当予想の修正

当社は、業績の動向を踏まえながら、安定的かつ継続的な配当の実現と、機動的かつ柔軟な自己株式取得により、株主還元の充実を図ることとしております。

上記の方針および足元の財務状況などを総合的に勘案し、直近の期末配当予想から1株当たり5円増配の60円の普通配当とし、また、当社は2022年10月1日をもちまして三井化学株式会社として創立25周年を迎えることから、株主の皆さまへの感謝の意を表し、当期末において、1株当たり5円の記念配当を実施する予定としております。

これにより、当期の期末配当予想につきましては、1株当たり65円の配当(普通配当60円、記念配当5円)といたします。

すでに2021年12月2日に1株当たり55円の間配当を実施しておりますので、当期の年間配当予想は1株当たり120円(普通配当115円、記念配当5円)となります。

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2021年5月13日公表)		55円00銭	110円00銭
今回修正予想		65円00銭 (普通配当 60円00銭) (記念配当 5円00銭)	120円00銭 (普通配当 115円00銭) (記念配当 5円00銭)
当期実績	55円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	50円00銭	50円00銭	100円00銭

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	195,987	211,815
営業債権	285,846	353,012
棚卸資産	258,814	342,008
その他の金融資産	27,176	49,624
その他の流動資産	15,230	24,505
小計	783,053	980,964
売却目的で保有する資産	4,519	40,618
流動資産合計	787,572	1,021,582
非流動資産		
有形固定資産	455,749	497,476
使用権資産	46,211	42,469
のれん	1,123	1,150
無形資産	19,678	25,350
投資不動産	23,222	22,085
持分法で会計処理されている投資	97,509	113,141
その他の金融資産	57,463	54,166
退職給付に係る資産	55,059	63,917
繰延税金資産	9,333	10,401
その他の非流動資産	5,206	5,015
非流動資産合計	770,553	835,170
資産合計	1,558,125	1,856,752

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	119,712	178,428
社債及び借入金	216,721	303,381
未払法人所得税	6,195	14,019
その他の金融負債	84,242	117,473
引当金	1,157	1,185
その他の流動負債	37,736	32,711
小計	465,763	647,197
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	542	—
流動負債合計	466,305	647,197
非流動負債		
社債及び借入金	293,495	320,733
その他の金融負債	67,722	51,892
退職給付に係る負債	16,384	19,086
引当金	3,698	3,851
繰延税金負債	27,834	29,819
その他の非流動負債	530	445
非流動負債合計	409,663	425,826
負債合計	875,968	1,073,023
資本		
資本金	125,331	125,414
資本剰余金	74,009	73,599
自己株式	△24,900	△34,926
利益剰余金	424,084	507,879
その他の資本の構成要素	9,397	19,119
親会社の所有者に帰属する持分合計	607,921	691,085
非支配持分	74,236	92,644
資本合計	682,157	783,729
負債及び資本合計	1,558,125	1,856,752

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上収益	857,428	1,165,079
売上原価	△653,538	△881,611
売上総利益	203,890	283,468
販売費及び一般管理費	△151,417	△169,171
その他の営業収益	2,670	11,028
その他の営業費用	△4,166	△11,283
持分法による投資利益	950	21,984
営業利益	51,927	136,026
金融収益	3,509	2,855
金融費用	△8,751	△9,302
税引前四半期利益	46,685	129,579
法人所得税費用	△9,641	△22,062
四半期利益	37,044	107,517
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	33,001	100,067
非支配持分	4,043	7,450
四半期利益	37,044	107,517
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	170.44	513.32

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期利益	37,044	107,517
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	178	462
確定給付制度の再測定	19,230	4,331
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	35	△11
純損益に振り替えられることのない項目合計	19,443	4,782
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△6,244	7,520
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	384	303
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△1,917	2,434
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△7,777	10,257
税引後その他の包括利益合計	11,666	15,039
四半期包括利益	48,710	122,556
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	45,744	114,044
非支配持分	2,966	8,512
四半期包括利益	48,710	122,556

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定
2020年4月1日残高	125,298	79,320	△39,254	359,794	11,894	—
四半期利益	—	—	—	33,001	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	112	19,228
四半期包括利益合計	—	—	—	33,001	112	19,228
自己株式の取得	—	—	△673	—	—	—
自己株式の処分	—	△0	2	—	—	—
配当金	—	—	—	△19,349	—	—
株式報酬取引	33	33	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△5,344	15,042	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰 余金への振替	—	—	—	20,576	△1,348	△19,228
所有者との取引額等合計	33	△5,311	14,371	1,227	△1,348	△19,228
2020年12月31日残高	125,331	74,009	△24,883	394,022	10,658	—

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	在外営業活 動体の換算 差額	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	合計	親会社の所 有者に帰属 する持分合 計		
2020年4月1日残高	△6,591	△1,241	4,062	529,220	80,487	609,707
四半期利益	—	—	—	33,001	4,043	37,044
その他の包括利益	△6,939	342	12,743	12,743	△1,077	11,666
四半期包括利益合計	△6,939	342	12,743	45,744	2,966	48,710
自己株式の取得	—	—	—	△673	—	△673
自己株式の処分	—	—	—	2	—	2
配当金	—	—	—	△19,349	△6,052	△25,401
株式報酬取引	—	—	—	66	—	66
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	9,698	△6,883	2,815
その他の資本の構成要素から利益剰 余金への振替	—	—	△20,576	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△20,576	△10,256	△12,935	△23,191
2020年12月31日残高	△13,530	△899	△3,771	564,708	70,518	635,226

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2021年4月1日残高	125,331	74,009	△24,900	424,084	11,606	—
四半期利益	—	—	—	100,067	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	418	4,312
四半期包括利益合計	—	—	—	100,067	418	4,312
自己株式の取得	—	—	△10,029	—	—	—
自己株式の処分	—	0	3	—	—	—
配当金	—	—	—	△20,527	—	—
株式報酬取引	83	83	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△493	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	4,255	57	△4,312
所有者との取引額等合計	83	△410	△10,026	△16,272	57	△4,312
2021年12月31日残高	125,414	73,599	△34,926	507,879	12,081	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	合計				
2021年4月1日残高	△1,497	△712	9,397	607,921	74,236	682,157
四半期利益	—	—	—	100,067	7,450	107,517
その他の包括利益	8,951	296	13,977	13,977	1,062	15,039
四半期包括利益合計	8,951	296	13,977	114,044	8,512	122,556
自己株式の取得	—	—	—	△10,029	—	△10,029
自己株式の処分	—	—	—	3	—	3
配当金	—	—	—	△20,527	△5,390	△25,917
株式報酬取引	—	—	—	166	—	166
連結範囲の変動	—	—	—	—	16,750	16,750
非支配持分との取引	—	—	—	△493	△1,464	△1,957
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△4,255	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△4,255	△30,880	9,896	△20,984
2021年12月31日残高	7,454	△416	19,119	691,085	92,644	783,729

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	46,685	129,579
減価償却費及び償却費	57,038	61,407
減損損失	53	251
受取利息及び受取配当金	△1,425	△1,486
支払利息	3,531	2,948
持分法による投資損益(△は益)	△950	△21,984
営業債権の増減額(△は増加)	19,610	△53,476
棚卸資産の増減額(△は増加)	26,668	△70,600
営業債務の増減額(△は減少)	△6,191	49,815
未収入金の増減額(△は増加)	5,794	△21,001
その他	△4,757	△8,519
小計	146,056	66,934
利息及び配当金の受取額	5,516	6,276
保険金の受取額	761	1,124
利息の支払額	△3,547	△3,019
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△8,269	△16,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,517	54,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57,036	△76,819
有形固定資産の売却による収入	321	1,543
無形資産の取得による支出	△1,309	△8,244
無形資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の取得による支出	△648	△762
投資有価証券の売却及び償還による収入	115	49
子会社の取得による支出	△1,722	△1,001
子会社の取得による収入	—	12,431
子会社の売却による支出	—	△1,749
子会社の売却による収入	—	5,547
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△3,010	△36,449
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	99	—
その他	△1,817	1,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,006	△104,022

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△15,331	7,207
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△10,000	65,000
長期借入れによる収入	19,588	27,773
長期借入金の返済による支出	△5,623	△17,544
社債の発行による収入	15,000	35,000
社債の償還による支出	△10,284	△10,290
リース負債の返済による支出	△5,613	△7,289
自己株式の売却による収入	2	3
自己株式の取得による支出	△673	△10,029
配当金の支払額	△19,349	△20,527
非支配持分からの払込みによる収入	—	1
非支配持分への配当金の支払額	△4,667	△4,237
非支配持分への子会社持分売却による収入	2,800	—
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△1,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,150	63,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,533	2,402
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39,828	15,828
現金及び現金同等物の期首残高	164,571	195,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	204,399	211,815

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ジニング	基盤素材	計				
売上収益									
外部顧客への 売上収益	220,791	105,661	139,295	381,836	847,583	9,845	857,428	—	857,428
セグメント間の 内部売上収益	6,356	1,852	1,342	37,634	47,184	37,467	84,651	△84,651	—
計	227,147	107,513	140,637	419,470	894,767	47,312	942,079	△84,651	857,428
セグメント利益 又はセグメント 損失(△) (コア営業利益)	19,465	14,809	15,245	5,307	54,826	△512	54,314	△2,134	52,180

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△2,134百万円には、各報告セグメントには配分していない全社費用等△2,052百万円及び、セグメント間消去取引△82百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ジニング	基盤素材	計				
売上収益									
外部顧客への 売上収益	296,946	124,115	165,799	567,260	1,154,120	10,959	1,165,079	—	1,165,079
セグメント間の 内部売上収益	7,926	1,932	3,547	61,001	74,406	46,553	120,959	△120,959	—
計	304,872	126,047	169,346	628,261	1,228,526	57,512	1,286,038	△120,959	1,165,079
セグメント利益 又はセグメント 損失(△) (コア営業利益)	35,924	16,620	19,847	65,733	138,124	△363	137,761	△3,501	134,260

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△3,501百万円には、各報告セグメントには配分していない全社費用等△3,384百万円及び、セグメント間消去取引△117百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
セグメント利益	52,180	134,260
負ののれん発生益	—	6,324
減損損失	△53	△251
固定資産処分損	△529	△719
関連事業損失	△3	△5,265
その他	332	1,677
営業利益	51,927	136,026
金融収益	3,509	2,855
金融費用	△8,751	△9,302
税引前四半期利益	46,685	129,579

(重要な後発事象)

(ポリウレタン原料事業の合弁解消に伴う事業譲受)

(1) 企業結合の概要

① 相手企業の名称及びその事業の内容

相手企業の名称 三井化学SKCポリウレタン株式会社 (以下、「MCNSJ」と言います。)

事業の内容 ポリウレタン原料の製造・販売・研究 (TDI、MDI、PPG、システム製品)

② 取得日

2022年1月1日

③ 事業譲受を行った主な理由

当社とSKC Co., Ltd. (以下、「SKC」と言います。)は、ポリウレタン原料事業について、2015年7月に合弁会社Mitsui Chemicals & SKC Polyurethanes Inc.を設立し、共同運営をしておりますが、この間、当社の高機能品・バイオ製品等により着実に収益を向上させていく方針と、SKCのグローバル進出などの成長を重視する方針との間で徐々に齟齬を来すようになっておりました。

この度、両社の事業をさらに発展・成長させるためには、それぞれの戦略に従い当該事業を進めていくことが最善であると判断し、本提携を解消し、MCNSJの事業を譲り受けることとしました。

④ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価とする事業譲受

なお、IFRS第3号「企業結合」の規定を適用しておりますが、現時点において企業結合時の会計処理が完了していないため、会計処理に関する詳細な情報は記載しておりません。

(2) 取得日現在における取得対価

取得対価は約107億円を予定しておりますが、今後の価格調整等により実際の金額は変動する可能性があります。

(3) 取得資産、引受負債及びのれん

当第3四半期連結会計期間末において、取得資産及び引受負債の公正価値測定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、記載を省略しております。

(三井化学アグロによるMeiji Seikaファルマ農薬事業の子会社株式取得)

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称、その事業の内容及び取得した議決権付資本持分の割合

被取得企業の名称：株式会社MMAG、他2社

事業の内容：農薬の研究・開発・製造・販売等

取得した議決権付資本持分の割合：100%

② 取得日

2022年1月4日

③ 企業結合を行った主な理由

対象企業が保有する原体ポートフォリオ、国内外の顧客基盤、創薬・製剤技術および天然物に関する技術を三井化学アグロ株式会社と融合していくことで、国内市場におけるプレゼンス向上、および今後成長が見込まれる海外農薬市場への展開加速が可能となります。また、継続的な新規原体創出と市場ニーズに応えるマーケットイン型の製剤開発の強化を図ることができ、当社の長期経営計画の実現及び三井化学アグロ株式会社の成長戦略を加速させることを目指しております。

④ 被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価とする株式取得

なお、IFRS第3号「企業結合」の規定を適用しておりますが、現時点において企業結合時の会計処理が完了していないため、会計処理に関する詳細な情報は記載しておりません。

(2) 取得日現在における取得対価

取得対価は約422億円を予定しておりますが、今後の価格調整等により実際の金額は変動する可能性があります。

(3) 取得資産、引受負債及びのれん

当第3四半期連結会計期間末において、取得資産及び引受負債の公正価値測定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、記載を省略しております。

(日本エム・ディ・エムとの資本提携)

当社は、2021年12月7日付にて、日本特殊陶業株式会社が保有する株式会社日本エム・ディ・エムの全株式を取得する株式譲渡契約を締結しておりましたが、2022年1月7日付で株式の取得が完了しております。

本株式取得により、当社の株式会社日本エム・ディ・エムに対する持分比率は30%となり、株式会社日本エム・ディ・エムは当社の持分法適用会社となりました。取得対価は約177億円を予定しておりますが、今後の価格調整等により実際の金額は変動する可能性があります。